

平成 31 年 1 月 4 日
観 測 部
地球環境・海洋部

12月の天候

2018年(平成30年)12月の日本の天候は、沖縄・奄美で気温がかなり高くなりました。北日本日本海側と東日本太平洋側および西日本は、日照時間がかなり少なくなりました。月末は、北・東日本日本海側を中心に暴風雪や大雪となりました。

2018年(平成30年)12月の天候の特徴は以下のとおりです。

沖縄・奄美は、気温がかなり高くなりました。
寒気の南下が弱く暖かい空気に覆われる日が多かったため、沖縄・奄美は気温がかなり高く、東・西日本も高くなりました。

北日本日本海側と東日本太平洋側および西日本は、日照時間がかなり少なくなりました。
気圧の谷の影響を受けやすかったため、北日本日本海側と東日本太平洋側および西日本は日照時間がかなり少なくなりました。

月末は、北・東日本日本海側を中心に暴風雪や大雪となりました。
強い冬型の気圧配置となって強い寒気が流れ込んだため、27～30日は北・東日本日本海側を中心に暴風雪や大雪となった所がありました。

別紙(概況、統計値等)[PDF形式:362KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko1812_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 道城(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341(内線 4156) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341(内線 3154) FAX 03-3211-8406